



特別インタビュー 新谷 瑠紀

宇宙のなかにある 自分の存在を感じる

——彫刻や表現することについて、何か変化してきたことはありますか。

新谷 いまは仕事ができる体があることをめいっぱい喜んでいきますね。ただひたすらに生きていることに感謝しています。彫刻の果たす使命とは、街における空間を美しくすることだと思っております。自分が街をきれいにするとか、彫刻を置くとかいうことを考えていましたが、彫刻自体をつ

り、その彫刻がいかに人に感激を与えるかが重要だと思っております。

りました。それだけでいいのだと思うのです。感激的な上に、人に喜びを与える彫刻をつくっていきたい。感激がなければ駄目だと思っております。「心地よい」といった形にならない感覚を大切にしている人が増えて欲しいと思っております。感激する喜びが多い街がいいと思います。

——病気をされたようですが、そのことも大きかったのではないですね。

彫刻の果たす使命

この秋、兵庫県文化賞を受賞された彫刻家の新谷瑠紀さん。中山手通にあるアトリエを訪ねてインタビューしました。

新谷 自分が宇宙人であるということ認識するようになりました。

ね。入院しているとき、病室の窓を開けて寝ていたのですが、星が手にとるようによく見えましたね。朝方の赤とピンク色のグラデーションなどは最高にきれいでした。そういう光景を見てると、まさに宇宙のなかに寝ているという感じが、浮いているという感じがしました。一ヶ月余入院していたのですが、毎日そういう光景を見てると、自然と宇宙のなかの一員だと考える

ようになりますよ。

——たまにはそういう時間も必要だということですね。

新谷 家に帰ると見えない光景ですから、時々入院しなければならぬと思いますね(笑)。あと、人間にはいろいろな欲がありますが、極力無くしていこうと考えるようにもなりました。例えば金銭欲や物欲ですね。そうすると欲しいのは時間だけです。

いまの僕があるのは
グレコの一言一句

——いろいろな意味で新谷先



(上) マリーナ
(下) 愛の手

しんたにゆうき 1937年 神戸生まれ。金沢市美術工芸大学彫刻科卒業後、1965年 イタリアへ留学し、エミリオ・グレコ、ジャコモ・マンズーに師事する。



1966年頃、エミリオ・グレコ氏のローマのアトリエにて

生にはグレコの影響が大きいように思うのですが、どんな師匠でしたか。

新谷 とにかく厳しい師匠でしたね。しかしいまの僕があるのは、師匠グレコの一言一句を徹底して取り入れたことにあると思います。例えば靴を非常に大事にする人で、旅行のときなどは、傷がつかないように、ソックスのなかに靴をいれて持ち歩くほどでした。スポーツ選手の靴はとても重要なものです。何をするときでもしつかりと大地に足がついていなければなりません。我々も足に合わない靴を履いてはいけません。できないのです。だから靴はいいわね、きれいにしておくように言われてましたね。

てきました。作品もよく見てもらっていたのですが、最近の画塾の先生や学校の教授などは、僕から見ると甘すぎて先生ではない気がしてしまいます。グレコはまずみんなのスケッチをスケッチブックから破り取って、良いか悪い、どちらかに分けてしまうのです。彼の感覚でいいと思うものが信じられないのなら、教室には来なくていいというのです。その代わり、徹底して丁寧に見てくれますよ。そういう先生が、いまの神戸には本物のアーティストを育てる指導者が必要です。行政は若いアーティストに財政面の支援をするだけでは駄目なのです。厳しい先生が必要ですよ。

人間の、ことを考えた愛のある街づくり

新谷 そうですね、とにかくアトリエに来て、その空気を感ずることが勉強になると言っていましたね。僕はたまたまグレコに気に入られていたようで、アトリエで未公開の作品や、エッチングなどスケッチができるまでの過程を見

——神戸にはアーティストや学者が集まりやすいところなのでしょうか。

新谷 それはこれからの問題

人間というものを徹底的に分析解析した人が、よい街づくりをやっていける

だと思えます。高層ビルの真ん中にも落ち着きませんよ。イタリアの石畳の路地がある風景は、どことなくあたたかみがあって、落ち着くものです。日常に喜びがない街には、人は集まらないと思うのです。

——そういう意味では、昔の神戸は良かったですね。

新谷 昔から神戸には、いろいろな国の人が入ってきて、往来しています。そしてみんなが言葉でコミュニケーションをとれると、は限りません。では何で通じ合うかと言えば、心の機微だと思えます。機微とは愛です。愛のある気持ちがお互いのコミュニケーションを成立させるのです。「ナポリを見て死ぬ」という言葉があります。イタリアの格言やことわざに出てくる言葉が、昔の神戸にはびつたりと当てはまっていたと思うのです。北野や港のある風景があり、汽笛が聞こえてきたりしていました。北野クラブの上から

の景観は、また神戸に来たくなる風景でした。僕の友人なども、よく神戸に来て街をスケッチしていましたからね。これからは、アーバンデザイナーの質によって、神戸の街が良くなっていくか、悪くなっていくかが決まってくると思いますよ。

——どういう人が神戸のアーバンデザイナーとして相応しいとお考えですか。

新谷 必ずしも売れっ子デザイナーがいいとは限らないのです。人間臭みのある人でなければ駄目です。人間というもの、を徹底的に分析解析した人が、よい街づくりをやっていけるのだと思っています。これから一人の人間が全部のことをやるのは限界があります。いろいろなジャンルの人間が結集していかなければならないでしょう。そして何十年、何百年かけて、快適な空間へと修正されていくでしょう。5年か、10年おきにリニューアルなどしても意味がないですよ。僕は神戸を愛していますから、もっともったいい街になってほしいのです。



震災後に再建したお気に入りの空間、中山手のアトリエにて

2003年初詣ガイド

年初の祈り

新しく巡りきた2003年が

真に意義のある時となりますように。

新しい次元を開く一歩を踏み出すとき…



生田神社 加藤隆久宮司

新 年明けましてお目出
とございます。生

田神社御祭神は稚日女尊と
申し上げ、日本書紀に記さ
れた稚く瑞々しい太陽のこ
とき御女神という御名義で
あります。神代の昔、忌機
殿で自ら機をお織り遊ばさ
れた大神の故事により、庶
民の生業に御心をお注ぎに
なられ、庶民の安楽になる
よう家庭生活をお守り下さ

る御神徳が深く崇敬されて
おります。又、神功皇后の
玉躰をお守りされた神とし
て健康維持の守護神として
広く古今の崇敬を集めてお
ります。神戸という地名は
「生田の神を守る神戸」か
ら起ったもの。千八百年の
歴史を持つ神戸の大氏神と
して広く尊崇されています。

生田神社

神戸市下山手通1・2・1
078・321・3851



湊川神社 榎尾泰治郎宮司

新 しい年を迎えられ、お慶び申し上げます。一夜明ければ、うつつ変わって「おめでどう」と、すべてが改まる。ここに日本人の「ケジメ」と「蘇り」を重んじる心があります。いわば竹の節の如くして、一年毎に節を重ねて、雪の重さにも堪える竹のしなやかさが養われて来ます。古来日本人は、この人生の節々を大事に迎えて来ました。これらの節々には、必ず神様やご先祖様に詣り、心身ともに新たな力を授けられて蘇るよう信じて来たのです。

当社では、初詣の皆様が無事平安、御崇敬の会社団体等の繁栄を祈って年頭の祭祀にとめます。

湊川神社
神戸市中央区多聞通3・1・1
078・371・0001

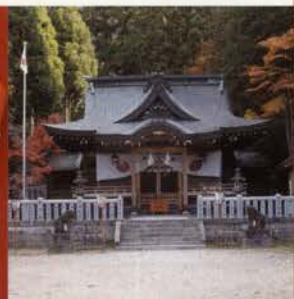
蛭子神社 井上優宮司

当 社は福の神として、古くから親しまれており、毎年一月九日十日十一日に齋行する十日えびす大祭は遠近問わずたくさんの方の参詣者で賑わいます。例年奉納される、神戸市中央卸売市場からの大マグロや鯛やブリ等の海の幸、山の幸はとても見応えがあり参詣者の楽しみの一つになっています。

また、九日宵えびすには地元有志「戎舞奉賛会」による淡路人形浄瑠璃戎舞が家内安全商売繁盛を願って奉納されます。

昔ながらの伝統文化である十日えびす大祭に皆様お揃いで是非ともお参り頂きまして、えべっさんの「福」を授かって下さい。

榎原蛭子神社
神戸市兵庫区西柳原町5・20
078・651・0183



湯泉神社 別所敬介宮司

謹んで新春のお慶びを申し上げます。湯泉

神社では、平成十三年に御遷座百二十年を迎えました。その記念事業として本殿・拜殿の建て替え、境内の整備を行い平成十四年の秋に全ての工事を終え美しく再建されました。以後、氏子の皆様を始め有馬を訪れる多くの観光の方々にご参拝頂いております。家内

安全・健康祈願・厄除・交通安全など祈願されておりますが、とりわけ子宝・安産の神社と親しまれております。中でも子宝の御守り「玉銚さま」「阿福さま」は、ホームページを通じて全国各地よりもとめられております。是非、湯泉神社にご参拝下さいませ。

湯泉神社 <http://www.touzen.or.jp/>
神戸市北区有馬町1-9-08
078-904-0418

北野天満神社 佐藤典久宮司

当 神社が国家鎮護、霊

顕あらたかな学問の神様として祀られたのは、平清盛公が、治承四年（一一八〇年）六月、神戸に京都から都を移し、「福原の都」を造るにあたり禁裡守護、鬼門鎮護の神として、京都の北野天満宮を勧請されたと伝えられています。御鎮座されてから、この地域は「北野」なる町名になり、明治開港と共に外国人が多く住み風光を賞で、異国情緒豊かな異人館を残して現在神戸の名所に数えられるに至りました。北野の名付け親なる北野の天神さんで神戸市街を一望しながら初日の出を拝み、清々しい新年をお迎えいただけたいと存じます。

御鎮座されてから、この地域は「北野」なる町名にな

北野天満神社 <http://www.kobe-kitano.net>
神戸市中央区北野町3-12-1
078-221-2139



一宮神社 山森大雄美宮司

「パール・ストリート」面に「鳥居竣工」平成十四年春、竣工したパール・ストリートに面した新しい境内地に、この度敬神の念篤き神戸在住の藤井八郎様始めご親族の皆様からのご奉納により、南側に鳥居、また境内の西の入口に標柱・玉垣等の新設工事が今年末、完成を目指し進んでおり、この十二月二十九

日には「竣工奉祝祭」をご齋行申し上げる予定です。新春にはどうぞ皆様お揃いで新しい鳥居・標柱をくぐり、ご参拝いただきますようお願い申し上げます。新しい年葵末・平成十五年が皆様にとって幸多い良き年で有りますことをご祈念申し上げます。

一宮神社
神戸市中央区山本通1・3・5
078・221・1281

宝地院 中川正興住職

宝地院は弘安二年に安徳天皇の御菩提を弔うため荒田村の人々の寄進によって創設され、阿弥陀如来を御本尊に長い間地域のあついで信仰を集めております。

宝地院保育園も開園47年目を迎え、地域間・世代間・保護者間の交流を大切に、園児が心身ともに健全な社会人に成長してくれる

ようお願い、日々保育に精進しております。6カ月から6才までの約140名の園児たちは、みな元気いっぱい、めでたく思いやりのある宝っ子です。これからも未来に羽ばたく子供たちに夢を託し、幸せを第一に素晴らしい心を育ててまいります。

浄土宗善王山 宝地院
神戸市兵庫区荒田町3・17・1
078・511・5247



御贈答に

当老舗二百年の
のれんにかけて誇る逸品

丁稚羊羹 文政元年、初代藤江屋寅吉は、当時砂糖が高価にて庶民の口にも入るよう工夫をこらし、「丁稚」と名付け、砂糖を控えさつくりと練り上げた羊羹を作り出し、代々伝えて今日に到りました。北海道十勝産の最高級の小豆を使い風味豊かな味は、その道の人にも大変よろこばれております。



藤江屋 分大

本店
明石市本町1丁目12-17
電話 (078) 911-3635
FAX (078) 911-3645
定休日 毎週火曜日(水曜日は不定休)
営業時間 夏季AM 9:00~PM 6:30
冬季AM 9:00~PM 6:00

支店
◎JR明石駅ステーションプラザ東館
電話 (078) 913-0156
FAX (078) 913-6631
定休日 月一回火曜日(不定休)
営業時間 AM 9:00 ~ PM 8:00
◎西神そごう店
電話 (078) 990-3111

明石銘菓司

分大

朝比奈 隆 メモリアルコンサート



指揮 大友直人



尾崎比佐子 ソプラノ



野間直子 アルト



角地正範 テノール



松下雅人 バス

管弦楽 大阪フィルハーモニー交響楽団
合唱 大阪フィルハーモニー合唱団

2002 12/27 19:00開演[18:15開場]
[金]

神戸文化ホール 大ホール

モーツァルト作曲 デイヴェルティメント ヘ長調K138
ベートーヴェン作曲 交響曲 第9番二短調 作品125「合唱付」

入場料 [全席指定]

一般 4,000円

学生 1,000円 [文化ホールPGのみ発売]

チケット発売場所

神戸文化ホールプレイガイド TEL.078-351-3349

芸術文化センターチケットオフィス TEL.078-333-3399

[10:00—17:00、土日祝休]

主催 = 朝比奈隆メモリアルコンサート実行委員会

(神戸市、兵庫県、(財)神戸市民文化振興財団、(財)兵庫県芸術文化協会)

お問合わせ = 神戸文化ホール

電話078-351-3535

<http://www.kobebunka.org>

特別インタビュー

パティシエへの道

神戸で未来のパティシエを育てている神戸国際調理師専門学校。学園長の植木さんをフランス帰りのパティシエ、ジベル・小泉由紀子さんが訪ねました。

インタビュー—ジベル・小泉由紀子
神戸国際調理師専門学校にて

洋菓子文化と 神戸とのつながり

小泉 私がパティシエの道を選んだのは、まずお菓子を

植木 私が思うお菓子づくり

の魅力は、粉、卵、砂糖、バター、生クリームなど決まった材料に、チョコレートやフルーツなどを加えてつくると

つものお菓子ができあがることです。そして国や地域によって様々な種類があったり、つくる人によって個性が

くると、好きなものがあって、そしてそれをみんなが喜んで食べてくれるのが嬉しかったところにあります。

という単純な作業なのに、いく

でたりするところなのです。

お菓子は自分でつくって食べても、人に食べてもらっても幸せな気分になれますよね。

小泉 私の菓子づくりの原点も、休日に家族のためにつくっていたところにあります。

植木 お菓子づくりには「基礎を勉強すれば自分にもつくれるのではないか」「工夫次第で独自のお菓子をつくれる

のではないか」という思いが、誰にでもあります。そしてできあがったときの達成感こそが最大の魅力です。努力して腕を磨けば磨くほど、必ず上達します。100回スポンジを焼けば、100回分上達するのです。

小泉 神戸のお菓子はレベルが高いですね。

植木 神戸にはいいシエフと、パティシエが多いのですよね。しかも代々受け継がれた味と、ヨーロッパから帰ってきた人の新しい味を、食べ比べて楽しむことができるのですよ。外国人文化が栄えた神戸では、洋菓子文化が生活

に根ざしています。数多くのパティシエがいい意味で競い合い、ますます洗練されていき、神戸独自の洋菓子ブランドをつくり、全国に広がっていききました。全国的に有名な洋菓子メーカーには、神戸発祥のものが多くですね。

小泉 昔に比べるとお洒落な

含めた空間を楽しめるカフェなど、様々なお店が神戸にはありますね。

小泉 ヨーロッパの洋菓子にはそれほど流行がないのですよ。そういう意味では日本は四季がはっきりしていて、季節ごとにお菓子のテーマも変わってくるのが面白いです



植木 砂織

学校法人育成学園学园长
うえきさおり 兵庫県伊丹市出身。神戸市外国語大学卒業。学校法人育成学園神戸国際調理師専門学校勤務。平成14年学园长就任。神戸スローフード協会代表。神戸キワニスクラブ会員。

ね。それに日本では流行のものや、目新しいものから先に売れていきます。フランスなどはその逆で、まずは定番のものから売れていき、目新しいものは最後まで売れ残ってしまうのです。

植木 伝統を守りつづけた感じのいいお店から、洋菓子を

お店も増えてますよね。小さいときにはケーキといえはショートケーキとアップパイぐらいしか知りませんでした。初めてチーズケーキを食べたときにはびっくりしたものです。

植木 伝統を守りつづけた感じのいいお店から、洋菓子を

上には洋菓子でお祝いすること

が多いですね。誕生日ケーキ、ウェディングケーキ、お返しドラジェ、クリスマスプディングやブッシュドノエル、ガレットデロアなどいろいろな種類があります。10年ほど前にスウェーデンのストックホルムで暮らしていたことがあるのです。クリスマスにはペーパーカ、イースターにはサレムというケーキがあったのですが、日本ではどちらも全然見かけませんね。ヨーロッパの北部は冬が長く暗いので、家のなかで家族や友人との語らいに洋菓子が欠かせないものになっているのでしょうか。ロンドンのハロ

ツズ地下食品売場に並んでいたマジパンをかぶせたケーキ、クリスマス前のパリのショートウインドウに並ぶ洋菓子のディスプレイやラッピングは、思い出ただけで楽しい気分になってきますよ。

小泉 ヨーロッパの子供たちのおやつが、普通にフルーツやおばあちゃんがつくったバ

日本人はヨーロッパ文化に憧れすぎて、自国の文化を忘れつつありますよね。小泉

自分の国のことについて知らない人間が、世界に羽ばたくことはできないのですよ。植木

イなのです。それを見ていて、日本に帰ってきたときに食の氾濫に心配になりました。

植木 スウェーデンでも斬新な家具や食器などが話題にはなっていますが、それと対照的にとても古いものも大切にしますよね。

小泉 私も人のことは言えませんが、日本人はヨーロッパ文化に憧れすぎて、自国の文化を忘れつつありますよね。向こうの人は子供でも、自分の国の文化や歴史をちゃんと

言えます。日本のことを聞かれてほとんど答えられず、恥ずかしい思いをしたものです。植木 フランスに長く住んでいる友人には、「もし息子さんが学校を継ぐなら、早いうちから歴史と文化の勉強をさせておきなさい」と言われます。語学はもちろんのことですが、自分の国のことについて知らない人間が、世界に羽ばたくことはできないのですよ。

洋菓子業界の今、 そして神戸に望むもの

小泉 私は高校卒業のときに進路に迷い、思い切って専門学校に入ったのですよ。はじめは学校の先生や父親にかなり反対されましたね。もともと製菓だけではなく、フランス料理なども好きでしたから、学校は楽しかったですね。最近の学生さんはどのような感じですか。

植木 うちが調理師学校の方がずっと歴史は古いのですが、最近の傾向として、女の子の数が年々増えてきて、いまでは製菓コースの方が先に定員一杯になってしまっていますね。ただ、いまは就職が大変で、5人の募集枠に100人が殺到するような状態です。学校としては何とか就職までお世話をしたとは思っていません。

小泉 私が働きたした頃には、女の子の姿などほとんどありませんでした。特に学生



たちにとっては、パティシエへの憧れと、実際の現場の厳しさとは、かなりのギャップがあると思うのです。私の同期生でも、女の子でまだこの仕事を続けているのは私だけですから。

植木 口から入るものは何でもとても大事なものだと思うのです。私は常に「食は命、食は心、食は絆、食は文化」と生徒に言っています。食べることが大事なことであり、料理をつくる仕事は、人に幸せを与える職業です。そのためこの学校に来てくれたことにまず感謝します。将来パティシエになりたいとか、フランスに留学したいとか、自分のお店を持ちたいとか、はじめはみんな夢を抱いてここを訪れます。そんな夢を壊さないように、現実の厳しさも教えていきたいのです。

小泉 手に職をつけるための基礎を学校で学ぶのだと思うのです。あとは現場に出てから体で覚えることがほとんど

常に自分の足で動き、自分の目で確かめるということを念頭に…。

「食は命、食は心、食は絆、食は文化」植木

です。礼儀やマナーの問題も
ありますよね。

植木 学校としては、夢を叶
えるための手助けとなること
を学んでもらいたいのです。

料理の勉強だけではなく、就
職の世話もしますし、店舗経
営の授業、フラワーアレンジ

メント、ラッピング、色彩学
など、実践に役立つ技術も培
ってほしい。それともうひと

つ、企業が求める人材育成も
していかなければなりません

ん。単に技術を学ぶだけでは
なく、一般常識や挨拶、衛生

観念、掃除の徹底などは多少
厳しく教えますし、洋菓子業

界の現状なども学んでもらわ
なければいけませんよね。

小泉 辛いことばかりです
が、好きな仕事なら辛いこと

をひとつ乗り越えるたびに喜
びがあるのです。初めての就

職先で、初めてつくったお菓
子をシェフが「おいしい」と

言ってくれたときの喜びは、
いまでも忘れられません。

植木 どの分野でも同じこと
だと思うのですが、常に自分

の足で動き、自分の目で確か
めるといふことを念頭におい

てほしいと学生には願ってい
ます。本を読んだり、洋菓子
屋巡りをしたり、学生のうち

に少しでも見聞を広く持って
ほしいのです。毎年冬に行く

ヨーロッパ短期研修旅行もい
い機会だと思っています。情報

が氾濫する現代社会で、しっか
りと自分の足で立ち、しっか

り見極める目を養ってほしい
です。そして私たちは、全国

から来てくれる人達が過ご
す、社会に出る最後の学校生

活のために、少しでも居心地
の良い環境を用意したいと思

います。いまでも神戸でお
菓子を勉強したいという学生

が、全国から集まってきたい
ます。そういう思いに応える

ためにも、再来年には別校舎
で製菓専門の学校を設立する

予定です。1階をカフェにし
て、学生も外の人もまちの洋

菓子屋さんのような感覚で、
出入りできるスペースをつく

つていきたいです。
小泉 神戸でのお菓子づくり

などと比べても本場に少ない
ですよ。材料が手に入り
にくいから、自然と価格も上

がってきてしまいます。もった
い気味にフルーツの甘さを活か

したケーキを楽しんでほしい
のですが。

植木 だからこそこの度、ス
ローフード協会を設立したの

です。スローフードの三本柱
は「家庭料理・伝統料理の保

存」「良い食材をつくる農家
の紹介」そして「食育」です。

神戸は古くから港町として栄
え、グルメ都市として全国、

全世界に向けて食文化を発信
してきました。それを受け継

ぎ、次の世代へ伝えていくの
が、私たち食に携わる者の使

命ではないかと思っています。
小泉 私も自分のお店を出し

たいと考えていますが、日本
で開くなら神戸以外の場所は

考えられませんね。海と山と
緑の自然に囲まれ、洋菓子文

化が熟成された日本でいちば
んの環境だと思っています。
植木 神戸がファッション都

セプトに基づく都市づくりを
目指してきました。洋菓子に
よって神戸のまちにますます
の潤いを与えることができれ
ばと思っています。最近では
デパートの地下などでもガラ
ス張りの厨房があり、女性の
パティシエールが活躍してい
る姿を目にします。洋服のブ
ティックの隣に、ブティック
と見間違えような洋菓子屋さ
んがあり、中では女性のパテ
ィシエールが生き生きと動き
回っているような光景が、神
戸のまちには似合うと思うの
です。いいお店に、いいシエ
フ、パティシエ、いいお客さ
ん。そのすべてが集うまちが
神戸なのです。神戸の洋菓子
文化が今後もずっと続いてい
ってほしいと願っています。



じべーる・こいずみゆきこ 日本での修行を経て渡仏。フランスのホテルレストランなどでパティシエとして働き、今春帰国。磯上のカフェ・グリーンハウスで彼女プロデュースのケーキが販売されている。



制作：植木 砂織
育成学園 学園長 / 神戸スローフード協会代表

神戸国際調理製菓専門学校
Tel 078-332-6377 Fax 078-332-6378
神戸スローフード協会 Tel/Fax 078-321-5045

育成学園

神戸国際調理製菓専門学校

育成調理師専門学校 夜間併設

(神戸国際調理製菓専門学校は2003年4月1日をもって神戸国際調理製菓専門学校に名称変更いたします)



手作りのぬくもり アメリカンキルトハウスC's作品展

(上段右から)奥さん、斉藤さん、和田先生、若田さん (下段右から)河守さん、木村さん、椋木さん、南さん、武田さん

語る。

一番の魅力と
作りのぬく
もり」が一

作品から
溢れ出す「手

ことから。

に見せられた

ンティークキルト

和田さんがアメリカンキルト

を始めたのは、アメリカに住んで

いる時、アメリカのアンティークキルト

に見せられた

ことから。

作品から溢れ出す「手作りのぬくもり」が一番の魅力と語る。



11月15日から4日間、神戸ファッション美術館ギャラリーで、アメリカンキルトハウスC's作品展が催された。主催は東灘区在住の和田さんとその生徒さん達。先生である和田さん宅でお茶を飲み、楽しいひと時を過ごしながら制作を続けた。

来場者からは「幸せな気分になれた」「ぬくもりを感じた」と言ってもらって、うれしかったと和田さん。

和田さんがアメリカンキルトを始めたのは、アメリカに住んでいる時、アメリカのアンティークキルトに見せられたことから。

作品から溢れ出す「手作りのぬくもり」が一番の魅力と語る。



(上段・中段) 藤井先生による和の作品・オーダー作品 (下段) 生徒による作品

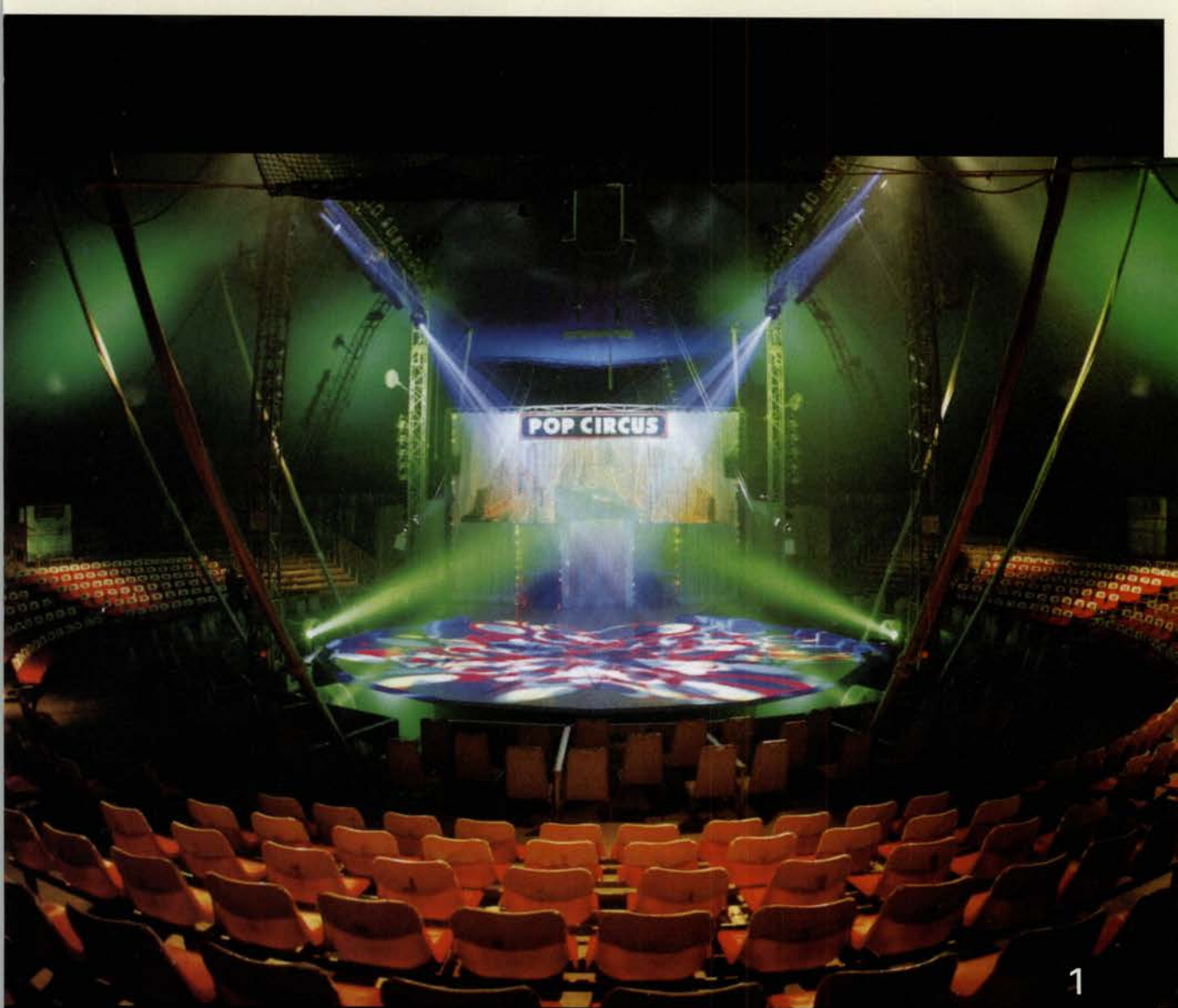
ダンスの中のルネッサンス 第28回ファッションパーティ「和の彩り」

モードメイドミチコ

11月1日、神戸ポートピアホテル大輪田の間で、モードメイド・ミチコの第28回ファッションパーティを開催。

生徒の作品20点、オーダーの作品14点、藤井美智子の作品18点が披露された。今回のテーマは「和の彩り」。和服の和と異素材を合わせ、融合の面白味や相乗効果を生かした作品づくりに力が注がれていた。モデルになって出場した人々と、この夜のために頑張ってきた生徒さん達が一つの輪となり楽しい発表会になった。また、如月伶生さんと青希佳音さんによる、シャンソンのステージでは、その歌声と衣装のすばらしさに、しばし魅了された。

「日頃筆筒の中に大切に収納され、また忘れられつつある和装に新たな生を与えることに、心をくだく毎日です。これらの伝統の深さ・匠の技・日本の四季の表現の豊かさに、いつも感動！ 今後ますます神戸らしくハイカラな服作りを目指します。」と藤井美智子さんは微笑んだ。



1

ポップ・サーカスは、 いつもあなたの心の中に。

空中ブランコやポールクライミング、トランポリン…。演じる者と観る者が一緒に楽しむ——そんなハートフルでスリリングなサーカス。

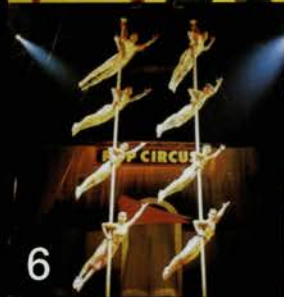
TRUSS

★ 2003年春に開園10周年を迎える神戸市立フルーツフラワーパークと神戸新聞創刊105周年・デイリースポーツ創刊55周年を記念して「ポップサーカス神戸公演」が開催される。開催期間は、3月1日から5月5日の約2ヶ月。ポップサーカスの「ポップ」は、楽しさの追及という意味。心がはずむ、楽しくはじけるという思いを込めている。ゲートをくぐりテントの中に一歩足を踏み入

れば、そこは夢の世界。光の星がきらめき、世界のアーティストたちが、幻想の世界に導いてくれる。驚き、笑い、興奮、そして感動。演じる者の息づかいが伝わる距離で、同じ空間と感動を共有できる。ある時は突然舞台上に現れ、ある時は観客に飛び込んで驚かせる、楽しくて賑やかなピエロたち。彼らは演技を引き立て舞台と客席をひとつに結ぶポップサーカスのアイドルたちの共演、コミカル・クラ

ウンズ。 たった一人でブランコを操り、驚異のバランスを披露する。派手な演出はないが、高度な技を実感できる。ゆつたりと空を舞う鳥のような軽やかさが印象的のブランシング・ブランコ。 中国雑技団の少年、少女12人が登場するサイクリングシヨ。1台の自転車に12人が乗るといふ、ハイクラスな技を披露。息の合ったチームワークが創り出すダイナミック

な演技は、見応え充分。 トランポリンの上で、見事な技が繰り広げられる中、笑いを誘うピエロの姿が会場を沸かせる。観客の中からもトランポリンに挑戦してもらい、アーティストとお客が一緒に技に挑戦。 楽しくてエキサイティング、一度見たら忘れられない、そんな心に残るシヨが楽しめる。 ポップサーカス神戸公演事務局 ☎078・366・2285 <http://www.pop-circus.co.jp/>



- 1 夢の空間を演出するポップ・サーカス
- 2 バランシング・ブランコ
- 3 12人サイクリングシヨ
- 4 トランポリン
- 5 コミカル・クラウンズ
- 6 ボールクライミング

入場料金(円)	団体(20人以上)		
	当日券	前売券	土・日・祝 平日
大人	2500	2200	1900 1700
子供	1500	1200	900 700

(子供は3歳から中学生まで。消費税込み)

開園時間	1回目	2回目	3回目
	3月1日	13:00	15:30
3月3日~3月7日	13:00		
3月10日以降の平日	11:00	13:30	
土・日・祝日	10:30	13:30	15:30

(1回の公演時間は1時間45分。休演日は毎週水曜日)

★ ペアチケット20組を 読者プレゼント
 応募方法/ハガキ、FAX、メールで住所・氏名・電話番号を書いて、〒650-0011神戸市中央区下山手通2-13-3建創ビル4F「月刊神戸っ子ポップサーカス係」まで、お送り下さい。
 FAX. 078-331-2795
 E-mail. kobecco@po.sphere.ne.jp

アーティストとあなた自身が創りあげる、決して醒めない“夢”の世界

月刊神戸っ子発行の書籍御案内

燦 KOBECCO
神戸で神戸っ子 創刊4号



燦KOBECCO 創刊Ⅳ号 (月4回発行)
定価=本体952円+税
年間講読5000円(税・送料込み)

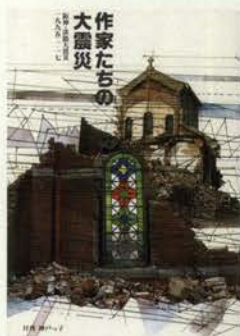


神戸うまいもん天国 (改訂版)
定価=本体700円+税

主要書店にて販売中。直接申し込みは、小社販売係まで



司馬遼太郎追想集 ここに神戸がある
定価=本体1905円+税



作家たちの大震災
定価=本体2000円+税

神戸っ子祭2003

会費 12000円 (予定)

日時 2003年3月3日(金) 午後5時30分受付 午後6時開宴

会場 神戸ポートピアホテル「偕楽の間」

月刊神戸っ子42周年 井植文化賞・500号発行記念
月刊神戸っ子創刊42周年記念式典 第32回神戸っ子賞・ブルーメール賞発表 KOBECCO祭り2003

お申し込み・お問い合わせは下記まで

月刊神戸っ子 神戸市中央区下山手通2-13-3建創ビル4F TEL.078-331-2246 FAX.078-331-2795

Merry Christmas and A Happy New Year



March	sunday	monday	tuesday	wednesday	thursday	friday	saturday		sunday	monday	tuesday	wednesday	thursday	friday	saturday	April
3							1				1	2	3	4	5	4
	2	3	4	5	6	7	8	2003	6	7	8	9	10	11	12	
	9	10	11	12	13	14	15		13	14	15	16	17	18	19	
	16	17	18	19	20	21	22		20	21	22	23	24	25	26	
	23 30	24 31	25	26	27	28	29		27	28	29	30				

MARUYAMA PRINTING CO., LTD.

石阪春生「素描」2003年カレンダー

一冊 3000円 (送料別)

お申し込み 月刊神戸っ子
 神戸市中央区下山手通2-13-3 建創ビル4F
 TEL.078-331-2246 FAX.078-331-2795

2002年のフィナーレを迎え、神戸復興10年に向かう2003年新年号は、おかげさまで月刊神戸っ子の500号記念号(創刊42年)を迎えることになりました。震災と不況の二重苦の中を、菌をくいしばって、執拗に、しぶとく、しっかりと一冊一冊「神戸への愛」をこめて歩んで参りました。頑張れ! 頑張れ!と応援して下さい皆さまの激励なくしては、発行出来なかったと存じます。心より御礼を申し上げます。さて、500号は原点にもどり再びわが愛する、小さく光るリトルマガジンでスタートいたしますので、何卒よろしくご支援のほどお願いいたします。古きを訪ね、新しき酒を盛るといった編集でゆったり、ゆっくり、ゆたかに、神戸復興10年をめざして歩んで参ります。何卒サポートのほど重ねてよろしくよろしくお願いいたします。

有限会社 月刊神戸っ子取締役編集長 小泉美喜子